2026年11月10日
株式会社ファクトリージャパングループ
代表取締役　春名秀樹

弊社サーバーへの不正アクセスによるお詫びとお知らせ（第二報）

2026年6月15日に公表いたしました、弊社の社内共有ファイルサーバーに対する第三者による不正アクセスにつきまして、お客様および関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

弊社では、外部の専門機関によるデジタルフォレンジック調査（原因・被害状況等の検証）を実施するとともに、対象データの精査を進めてまいりました。調査結果および今後の対応について、下記の通りご報告いたします。

1．経緯

2026年6月10日、弊社の社内共有ファイルサーバー（以下、社内共有サーバー）に対する第三者からの不正アクセスを確認いたしました。社内のRPA用PCに第三者によるアクセス確認後、直ちに外部通信の遮断および不正アクセスの封じ込め等の緊急措置を講じ、6月11日に対応を完了しております。
その後の調査により、6月7日20時頃より第三者による侵入が発生していたことが判明いたしました。
尚、本件につきましては、個人情報保護法に基づき、6月12日に個人情報保護委員会へ報告を行っております。

2．調査結果

(1) 情報流出の有無について

外部専門機関による調査の結果、情報の外部流出を示す痕跡は確認されませんでした。ただし、不正アクセスを受けた事実を踏まえ、流出の可能性を完全には否定できないと判断しております。
なお、クレジットカード情報につきましては、本件社内共有サーバーには一切格納されておりません。

(2) 影響を受けた可能性のある対象データ件数

弊社にて電話番号やメールアドレスの一致による重複除外（名寄せ）を実施した結果、対象データは約25万4千件であることを確認いたしました。

3．対象となった個人情報の項目

社内共有サーバーに格納されていた項目は以下の通りです。
（※対象となる方によって含まれる項目は異なります）

氏名、フリガナ
生年月日、性別
住所、電話番号、メールアドレス

4. 弊社の対応および再発防止策

弊社では、不正アクセス検知後速やかに緊急対応および封じ込めを実施し、現在も継続的な監視を行っております。対応完了以降、新たな不正アクセスは確認されておりません。

今後は、第三者専門機関の助言のもと、システムのセキュリティ対策、監視体制、および社内の情報管理体制を抜本的に見直し、再発防止に全力を尽くしてまいります。

5. お客様へのお願い

弊社が、本件への対応を理由として、メール・ＳＭＳ等でお客様にクレジットカード番号やセキュリティコード等の回答や入力をお願いすることはありません。

弊社や金融機関を装った不審なメール・ＳＭＳ等には応じないようにしてください。

改めまして、お客様、お取引先様をはじめ関係者の皆様に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社ファクトリージャパングループ 経営企画部
Mail：contact@factoryjapan.co.jp
受付時間：平日　午前10時から午後5時まで（土日祝祭日を除く）

以上